

INTERNATIONAL MYELOMA FOUNDATION, JAPAN  
2011 年堀之内朗記念研究助成

*The Award in Aki's Memory*

多発性骨髄腫研究助成金公募研究課題募集要項

堀之内朗記念研究助成とは

堀之内朗記念研究助成 (The Award in Aki's Memory) は、「日本骨髄腫患者の会」の創立者であり、2000 年 9 月 24 日に亡くなった堀之内朗氏を偲び、国際骨髄腫財団 (IMF : International Myeloma Foundation) により設置された研究助成事業です。

この助成金は、多発性骨髄腫の完全治癒の早期実現と多発性骨髄腫の治療向上に資するため、これにふさわしいと認める研究課題に対して交付するものです。2007 年募集まで通称「堀之内朗賞」として助成金を授与してきましたが、2008 年募集より助成対象を、従来通りに課題を公募する個人もしくは少人数で行われる基礎的研究部門と、日本骨髄腫研究会が中心となってグループ研究として行われる臨床研究部門の 2 つの部門といたしました。両部門ともに 150 万円の助成金を交付いたします。また基礎的研究部門の助成対象者には研究助成金とともに IMF より記念プレートが贈られます。

基礎的研究部門 (公募)

- ・採択数 毎年 1 件
- ・助成期間 1 年間
- ・助成額 150 万円
- ・採択課題の選考 日本骨髄腫研究会に委託し設置する堀之内朗選考委員会が応募課題から選考します。

臨床研究部門 (非公募)

- ・採択数 毎年 1 件
- ・助成機関 原則 1 年間。必要に応じ期間延長も認める。
- ・助成額 150 万円
- ・採択課題の決定 日本骨髄腫研究会が提案するグループ研究課題を日本骨髄腫患者の会が了承して助成します。

堀之内朗記念研究助成金は、日本骨髄腫患者の会への寄付を財源としています。寄付者はほとんどが多発性骨髄腫の患者さんとその家族の方々と、骨髄腫治療の進展に強い願いが込められています。

堀之内朗記念研究助成歴代課題採択者

■ 2011 年度堀之内朗記念研究助成基礎的研究部門 研究課題公募

○研究期間 2011 年 1 月 1 日～2011 年 12 月 31 日

○応募資格 日本国内の大学、大学院、研究機関、医療機関などの在籍者

○公募締め切り 2010 年 6 月 30 日（水）

○申請に必要な書類

- 1 所定の「堀之内朗記念研究助成」申請書様式一式
- 2 履歴書（学歴、職歴、所属学会、資格等を記入したもの）
- 3 申請者の所属する大学の部局長または機関の長、また、これに準ずる上司による堀之内朗記念研究助成金への応募承諾書（書式自由）。

\*申請対象の研究課題に対して受領中または申請中の助成金などの援助がある場合はその詳細を別紙に記入し、申請書類と一緒に送付下さい。同一課題で他から助成金が出る場合には助成対象とならないことがあります。審査にあたっては、上記で求められている以外の添付書類や推薦状等は考慮されません。

○申請書類作成上の注意

- 1 申請書類一式は原則として日本語で記述してください。（参考文献名などは英文でよい）
- 2 申請書は所定の「堀之内朗記念研究助成」申請書用紙（Microsoft Word 形式）を使用し、片面にのみ記入してください。
- 3 文字は標準フォントで 10 ポイント以上の大きさを使用してください。
- 4 表、図、写真などはページ制限内に収まるようにしてください。
- 5 申請者は申請書類一式のコピーを取っておいてください。

○募集期間と締め切り

2010 年 2 月 1 日から募集を開始し、2010 年 6 月 30 日午後 5 時締め切りです。

○送付方法、送付先および問い合わせ先

申請書類一式は書留郵便または宅配便で以下に送付してください。

〒184-0011 東京都小金井市東町 4-37-11

日本骨髄腫患者の会 堀之内みどり

FAX：042-381-0279

E-mail：horichans@nifty.com

○受領確認

申請書が到着しましたら、ファクスか E メールでご連絡します。

#### ■ 研究助成採択者の講演と成果報告

採択された研究助成採択者は2010年11月に富山市にて開催される日本骨髄腫患者の会総会において目録の授与を受けます。また同時に研究の概要等についてのご講演を賜る事になっております。研究期間終了後、成果報告書と助成金使途明細表をご提出いただきます。また、本助成に拠ることを明記した発表論文の別刷りを日本骨髄腫患者の会に寄贈頂きます。なお、成果報告書は本助成に拠ることを明記した発表論文別刷りで替えることも可能です。

#### ■ 審査基準

申請者の過去の業績と研究内容から判断して有意義な結果が期待できる先導的で独創的な案件であること。骨髄腫の原因や診断や治療や予防などに関する知識の前進への寄与が大きいこと。

#### ■ 選定結果の通知

助成採択者が決定しましたら、すべての申請者に対して、日本骨髄腫患者の会よりEメールまたはファクスでお知らせします。

#### ■ その他

基礎的研究部門助成採択者は2010年12月にアメリカ・フロリダ州でおこなわれる第52回アメリカ血液学会年会でのIMF授賞レセプションに参加できます。

助成金は2011年1月1日から始まる研究期間に助成採択者が所属する機関に対して提供されます。また助成金は助成採択者と日本骨髄腫患者の会との協議により、半額ずつ2回に分けて支給されることもあります。

日本骨髄腫患者の会のセミナー、講演会などの講師をお願いすることがあります。助成採択者が申請した研究課題に対して他の機関から財政的援助の申し出があった場合、助成採択者は速やかに日本骨髄腫患者の会にお知らせください。問題の無い場合には、助成採択者は同じ研究課題に対して他の機関の援助を受けることができます。

#### ■ IMFの他の助成金

日本の医師、研究者を対象とする堀之内朗記念研究助成とは別に国際骨髄腫財団では世界中の医師、研究者を対象とする研究助成金を提供しています。これらの助成金は国際骨髄腫財団への寄付金を財源として、国際骨髄腫財団から毎年提供されます。Brian D. Novis 賞は国際骨髄腫財団の創立者であり、1992年7月に多発性骨髄腫で亡くなられた Brian Novis 氏の功績を記念するものです。Brian D. Novis 賞の公募および審査は国際骨髄腫財団が行います。詳細はIMFのウェブサイトをご参照ください。

\*「国際骨髄腫財団」およびその日本支部の「日本骨髄腫患者の会」は、多発性骨髄腫とその治療法に関する正しい知識を提供し、患者の生活の質の向上の実現を使命とする非営利団体です。

以上